

AWAJIボランティアちゃれんじキャンプ

- 趣 旨**：自然体験活動の魅力を、体験を通して感じるとともに、指導者として必要となる知識・技術を学ぶことで、今後、指導者として活動する人材の育成を図る。
- 日 時**：平成29年10月14日（土）10：00～15日（日）16：00
- 場 所**：国立淡路青少年交流の家
- 対 象**：国立淡路青少年交流の家でのボランティア活動に興味のある人、法人ボランティア 30名程度
- 参加者**：14名（申込者 15名）
- プログラムの内容**：



<1日目【10/14（土）】>

10：00～11：00 アイスブレイク ～たのしくグループ分け～

<進行> 国立淡路青少年交流の家ボランティアスタッフ

企画ボランティアスタッフの進行により、自己紹介から始まり、以下のとおりアイスブレイクを実施した。

日の出／ラインナップ／デートゲーム／数集まり／名前リレー／人間知恵の輪



アクティビティのなかでグループ分けをし、野外炊飯に向けて初めて顔を合わせる仲間たちとの距離を縮め、体と心をほぐす時間とすることができた。

11：00～14：00 野外炊飯「流しそうめん」 ～グループの仲を深めよう～

<進行> 国立淡路青少年交流の家ボランティアスタッフ

4班に分かれ、流しそうめんづくりに挑戦した。まずは、竹を割ってそうめん台をつくり、様々な具材を協力して準備した。

和気あいあいとした雰囲気の中、自然と会話も生まれ、グループの仲を深める機会となるとともに、体験活動の魅力を知る機会となった。



14：00～16：30 裸足で運動会！ ～淡ボラパワーの見せ所～

<進行> 国立淡路青少年交流の家ボランティアスタッフ

会場を体育館に移し、以下の競技に挑戦した。

準備運動／ビーチフラッグ／ムカデ競争／

玉入れ／クラフトリレー／みんなでバランスリレー



グループ対抗となって、楽しみながら、そして真剣に様々な競技に挑むことで、更にグループの仲は深まるとともに、体を動かす体験の魅力を知る機会となった。

19：30～21：00 キャンプファイアー ～みんな（全員）で楽しく～

<進行> 国立淡路青少年交流の家ボランティアスタッフ

夜はボンファイアー場にて、以下のとおりキャンプファイアーと実施した。
点火の儀式／歌（もえろよもえろ）／運命の再会／おちたおちた／はなやか／猛獣狩り／ジップザップ／こげよ！マイケル

ゲームや歌を楽しみながら、施設の人気プログラムでもあるキャンプファイアーの魅力を知る機会となった。

<2日目【10/15（日）】>

9：30～15：30 企画作りワークショップ ～企画コンペ～

<進行> 国立淡路青少年交流の家 職員

2日目は、職員企画。3月に実施を予定している「ボランティア自主企画事業（その2）」に向けて、「小学生を対象としたキャンプ」をテーマに、グループごとにひとつのアクティビティを企画した。まずは、職員から企画作りのレクチャー。企画における「ねらい」の重要性を確認した。続いてグループに分かれて、企画作りに挑戦。途中、職員のアドバイスを受けながら、グループの個性が光る様々なアクティビティが企画された。最後に他のグループを前に自分たちの企画をプレゼンし、投票により順位を決定した。最大得票数を獲得したアクティビティは、3月に実現する予定をしている。



7 参加者の声

- 2日間ありがとうございました。想像以上に楽しかったです。また皆さんに会いたいです。
- 本物の竹で流しそうめんをしたり、キャンプファイヤーでみんなとワイワイできて、楽しかったです。
- 実際に企画を作れたのが大変だったけど良かった。

8 所感

- 自由記述には、プログラムに対する満足度の高さとともに、企画メンバーとなったボランティアスタッフに対する評価も高く、これからボランティアを始めたいという学生たちの良いモデルとなった。
- 当事業参加者から、「ボランティア自主企画事業（その2）」の企画メンバー応募があった。（2名）
- 当事業における課題は、事業終了後のふりかえりで、企画スタッフ自身から挙げられた。広報の弱さ、スケジュールの遅れ、プログラムの詰めが甘かった部分などを明らかにするとともに、「ボランティア自主企画事業（その2）」ではどのように改善すればよいか、まで議論された。